



著者プロフィール

浅井一志（あさい・かずし）白露同人。

昭和6年11月6日生。愛媛松山市出身。

昭和26年、飯田蛇笏先生に師事。「雲母」横須賀支社に所属。

西嶋麥南、石原舟月、松村蒼石先生の指導を受ける。

昭和37年、飯田蛇笏先生歿後、飯田龍太先生に師事。

昭和42年、雲母賞授賞。

昭和50年、雲母同人。

昭和56年より平成18年まで、NHK學園俳句添削講師。

昭和59年、「西嶋麥南全句集」編集刊行。

昭和60年、句集「一貫」刊。

平成2年、第二句集「十歩」刊。

平成4年、雲母終刊。

平成5年、廣瀬直人主宰「白露」創刊同人。

現在、社会福祉法人「清和會」常務理事。障害者生活支援センター鎌倉清和、鎌倉はまなみ更生・授産施設長。清和ホーム所長。

〈句集『百景』より転載〉〈2007年12月時点〉

『百景』（自選15句）

浅井 一志

荒魂の清ことごとく寒暑かな
雪嶽のたちはだかれる春田かな
桃咲くと諸手ひろげて甲斐の山
青空の狎れを許さず雪解富士
蝸牛もとよりの遠き海のいろ
纜を投げて呼びあふ寒日和
雪深く来て線香を分かちある
あるがまま生きんと思ふ卯波かな
大佛のゆるがぬ樟の茂りかな
千社札より梅雨冷えのはじまれり
女學院前にて揚羽見失ふ
鎌倉の月の海ある櫻かな
ものいはぬこともまた意志夏の月
日がひとついのちもひとつ冬の海
風待ちの白帆か鯨の潮まかせ